影岡　俊範　議員

「SDGs」挑戦の10年から

問 第5次松前町総合計画は、SDGsを踏まえた施策の展開となっている。

①海岸や河川の治水対策を促進するとあるが長尾谷川の川底の掘削はどうなっているのか。

②要援護者管理システム、被災者支援システムの進捗状況は。

③バイオマスタウン構想の推進では、稲わら・麦わら・もみ殻等の利用は。

④し尿及び浄化槽汚泥のバイオマス活用は。

⑤地域社会全体で子育てを支援する体制でファミリー・サポートセンターが重要な位置にあると考える。利用会員及びサポート会員に対する当町独自の助成制度の考えは。

答 横山まちづくり課長

①これまでも長尾谷川の河床掘削を実施し、流下能力や貯水能力を向上させることを強く要望し、流末の遊水池に堆積した土砂の除去を行っている。

答 大川総務課長

②要援護者管理システムは、町単独で「避難行動要支援者管理システム」として平成28年度に導入。被災者支援システムは、愛媛県被災者支援連携システムを今年度末に導入し新年度から運用する。

答 重松町民課長

③稲わら・麦わら・もみ殻等の利用は、現在農業経営者が土づくりのため田畑にすき込み、しめ縄等の材料として循環利用している。

④し尿及び浄化槽汚泥は、「塩美園」に処理委託し、平成12年の建設当時から肥料を製造している。

答 山田福祉課長

⑤サポート会員に対する援助報酬額を引き上げると共に、低所得世帯の利用会員に対して援助報酬額の一部を補助する制度を創設して負担の軽減を図り、子育て世帯が制度を利用しやすい環境を整える。

エコスクールと「SDGs」とは

問 環境に優しく持続可能な学校づくり、エコスクールの当町の取り組みは。

答 本馬教育長

町内の小・中学校でのエコスクールの取組として、岡田小学校・北伊予中学校・松前中学校の3校は、太陽光発電設備を設置し発電力を活用。

また松前中学校の体育館は、雨水をトイレの洗浄に使用。岡田中学校は夏場に緑のカーテンを実施。松前中学校の改築において環境に配慮したことは、LEDランプの使用。主要な教室の内装は木材を使用。外壁、1階床下及び天井裏等に断熱材を使用。断熱効果を高めるため複層ガラスを使用。節水対応は女子トイレの擬音装置の設置等である。

●ことば解説

※「SDGs」とは、Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略称。2015年9月の国連サミットで採択されたもので、国連加盟193か国が2016年から2030年の15年間で達成するために掲げた目標です。